

■東温市ため池ハザードマップ

このマップは、市内の農業用ため池96箇所のうち、決壊により家屋や公共の施設に被害を及ぼすものと選定している「防災重点ため池」85箇所について、大地震などによる決壊から満水の水が一気に氾濫した場合の浸水範囲、浸水深さ、浸水の到達時間や避難施設の場所を示しています。

■ため池の決壊について

平成28年熊本地震や平成30年7月豪雨などの近年の災害において、ため池が相次いで決壊し、下流の地域で被害が発生しています。大地震や大雨によって万が一ため池が決壊した場合に備えて、ため池による被害が予想される範囲や避難方法を確認しましょう。

★もし、ため池が決壊したら

- ・大量の水が濁流となって瞬時に押し寄せます。
- ・建物や車は押し流されます。
- ・道路や建物、田畑は土砂に埋もれます。

■ハザードマップの氾濫解析に当たっての前提条件

- ①大地震などにより、ため池が瞬時に決壊した状況です。
- ②ため池の満水の水がすべて流出した状況です。
- ③天候は、雨ではない状況です。
- ④川には、平常時の水が流れている状況です。

※注意：このマップの氾濫解析では、降雨による雨量を考慮しておりません。

■ため池ハザードマップの注意点

マップに着色している浸水想定範囲は、ため池が上記の前提条件により決壊した場合を想定していますので、マップに示した範囲以外に浸水が発生する場合や想定する浸水深さと異なる場合があります。

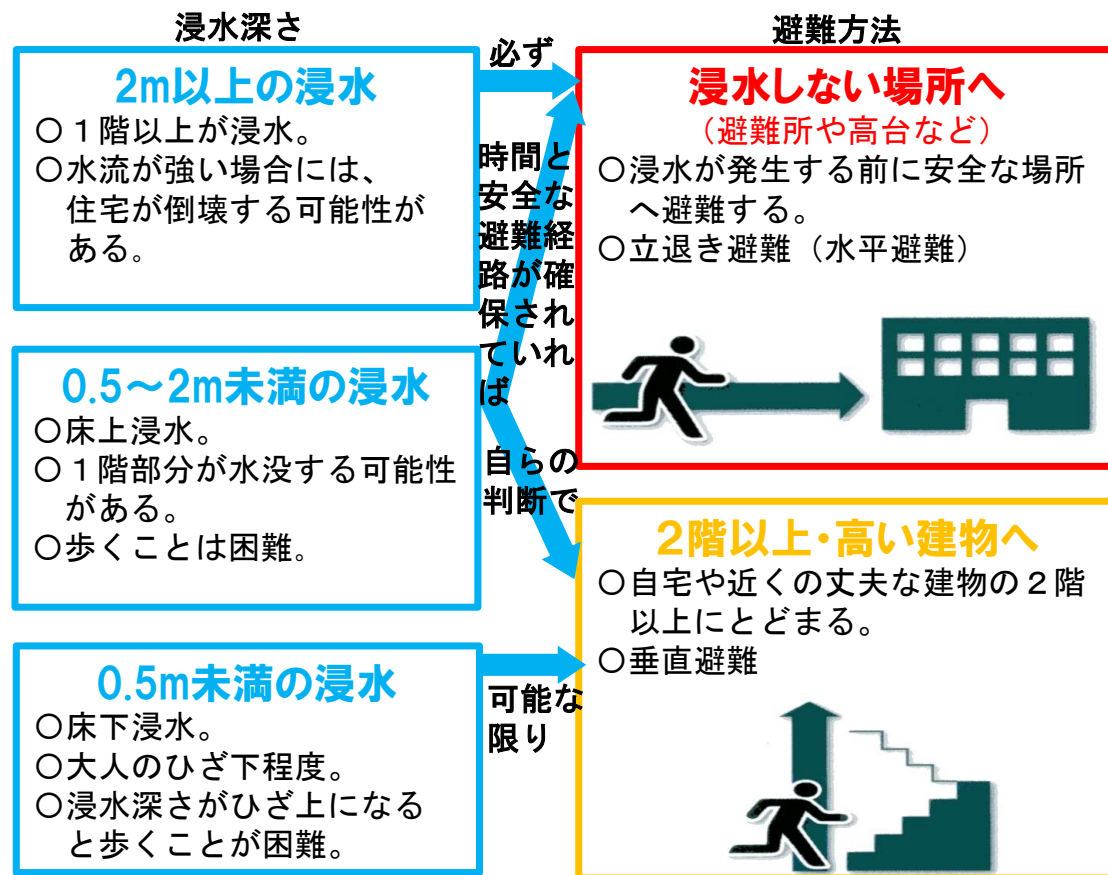
このため範囲に入っていないからといって安全を保障するものではありません。

ため池による災害の恐れがある場合、速やかに避難することが何よりも大切です。

また、マップでは東温市地域防災計画に掲載する指定避難場所と指定避難所、福祉避難所を示しています。この中にはため池の災害において浸水被害を受ける可能性があるため、避難ができない場所や施設があります。特に着色している浸水想定範囲及びその付近にある場所や施設はご注意ください。

■状況に応じた避難を考える

マップで想定される浸水深さを確認し、避難方法を考えましょう。



東温市ため池ハザードマップ（令和4年2月作成）
東温市 産業建設部 農林振興課 TEL：089-964-4409（直通）